

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成28年8月12日(2016.8.12)

【公表番号】特表2015-528466(P2015-528466A)

【公表日】平成27年9月28日(2015.9.28)

【年通号数】公開・登録公報2015-060

【出願番号】特願2015-530070(P2015-530070)

【国際特許分類】

A 6 1 K 39/008 (2006.01)

A 6 1 P 33/02 (2006.01)

C 0 7 K 19/00 (2006.01)

C 1 2 N 15/09 (2006.01)

C 0 7 K 14/195 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 39/008

A 6 1 P 33/02

C 0 7 K 19/00 Z N A

C 1 2 N 15/00 A

C 0 7 K 14/195

【手続補正書】

【提出日】平成28年6月23日(2016.6.23)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

以下の工程を含む、原核細胞又は真核細胞で発現された可溶性タンパク質を製造する方法：

i) 尿素を含まないか又は低濃度の尿素を含む緩衝液中で大腸菌封入体を調製して封入体懸濁物を形成させる工程；及び

ii) 該封入体懸濁物を高圧に付す工程。

【請求項2】

原核細胞又は真核細胞で発現された可溶性タンパク質を製造する方法であって、(i) 尿素を含まないか又は低濃度の尿素を含む緩衝液中で封入体を調製して封入体懸濁物を形成させる工程、(ii) 該封入体懸濁物をある時間にわたって階段的圧上昇に付す工程、及び(iii) 該封入体に適用された高圧をある時間の間維持する工程を含む、前記方法。

【請求項3】

緩衝液がさらにDTTを含む、請求項1又は2に記載の方法。

【請求項4】

高圧が2000バールから5000バールの範囲にある、請求項1又は2に記載の方法。

【請求項5】

封入体が20時間から100時間の間該高圧に付される、請求項1又は2に記載の方法。

【請求項6】

DTT濃度が1mMから100mMである、請求項3に記載の方法。

【請求項7】

尿素濃度が0Mから7Mである、請求項1又は2に記載の方法。

【請求項 8】

さらに減圧工程を含む、請求項1又は2に記載の方法。

【請求項 9】

減圧が83バール/hr - 125バール/hrの速度である、請求項8に記載の方法。